

(学校番号004)

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【谷田小学校】

| ① | 今年度の課題と授業改善策 | |
|----------|---|--|
| | 学習上・指導上の課題 | 授業改善策【評価方法】 |
| 知識・技能 | <学習上の課題>国語「既習した漢字」及び「主語と述語の関係」、算数「単位数」について平均正答率が低い。<指導上の課題>児童が反復・習熟に取り組む時間の設定が不十分である。また、児童が自ら振り返る時間を確保できていない。 | ⇒ 授業の際にはこの単元を重視するとともに、パワーアップタイムや授業で「ドリルパーク」等を活用し、漢字や計算等の基礎基本の反復に取り組む。【週に1度の実施】 ⇒ 授業中に児童自らがスクールダッシュボード等を活用して振り返り、次の学び生かせるようにする。【毎授業で実施】 |
| 思考・判断・表現 | <学習上の課題>全体的に「思考・判断・表現」の問題の平均正答率が低い。<指導上の課題>児童が自分の考えを表現する課程の時間を十分に確保できていない。 | ⇒ 各教科で児童が自分の考えを表現できる場を設定し、グループなどで協動的な学びを通して考えたり、表現したりすることができるようにする。【令和6年度さいたま市学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」の質問項目において、肯定的な回答の割合が92%以上】 |

| ② | 全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察) |
|----------|---|
| 知識・技能 | 国語の主語・述語の関係で課題が見られた。長文で主語と述語が複数ある場合、それぞれの関係性の理解が不十分であると考えられる。漢字の問題の正答率が低かった。熟語や部首の意味を考えず、音や形のイメージで理解していることが考えられる。算数のグラフの特徴を理解し、割合を読み取ることが苦手な児童が多い。0からではなく、途中から始まる項目の数値を読み取るのが間違えやすい傾向がある。 |
| 思考・判断・表現 | 国語の自分の考えが伝わるような表現の工夫に関する問題で、問題文の意味を浅く捉え、指示語が何を指すかを見落としている傾向があると考えられる。算数の図形の問題では、球の直径と立方体の辺が等しい関係性に気づけない、または立方体の体積の公式の意味の理解が不十分であると考えられる。 |

| ③ | 中間期報告 | | 中間期見直し |
|----------|-------|--|-------------|
| | 評価(※) | 授業改善策の達成状況 | 授業改善策【評価方法】 |
| 知識・技能 | B | 各教科の授業やパワーアップタイムで「ドリルパーク」等を活用し、漢字や計算等の基礎基本の反復に取り組むことができた。 | 変更なし |
| 思考・判断・表現 | B | 国語や算数等で単元を精選し、児童が自分の考えを表現し、グループなどで協動的な学びを通して考えたり、表現したりすることができるような場を設定することができた。 | 変更なし |

| ④ | さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察) |
|----------|--------------------------|
| 知識・技能 | |
| 思考・判断・表現 | |

| ⑤ | 評価(※) | 授業改善策の達成状況 |
|----------|-------|------------|
| 知識・技能 | | |
| 思考・判断・表現 | | |

| ⑥ | 次年度への課題と授業改善策 |
|----------|---------------|
| 知識・技能 | |
| 思考・判断・表現 | |

※評価
 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一步)